

付託委員会	結 果	市民クラブ							公明党			とみの風		無党派				賛 成	反 対		
		岡野 耕平	田口 勝一	戸村喜一郎	原 清一	高橋 益枝	猪狩 一郎	栗原 恒治	佐藤 繁夫	大川原きみ子	布川 好夫	江原 利勝	五十嵐博文	井上 康	高橋 祐子	窪田 優	櫻井 優好			鈴木 英吉	柏崎のり子
－	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	欠	16	0
－	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	欠	16	0
予算	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	欠	16	0
文教	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	欠	16	0
総務	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	欠	16	0
文教	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	欠	16	0
文教	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	欠	16	0
総務	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	欠	16	0
総務	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	欠	16	0

3月定例会の議案と議決結果 総務＝総務建設常任委員会 文教＝文教厚生常任委員会 予算＝予算審査特別委員会 全＝賛成全員 多＝賛成多数 否＝賛成少数 継＝閉会中の継続審査 ○＝賛成 ×＝反対 退＝退席 欠＝欠席 【継】＝前定例会以前からの継続案件 ※鈴木英吉議員は議長のため採決に加わっていません。		付託委員会	結果	市民クラブ								公明党		とみの風		無党派			賛成	反対			
				岡野耕平	田口勝一	戸村喜一郎	原清一	高橋益枝	猪狩一郎	栗原恒治	佐藤繁夫	大川原きみ子	布川好夫	江原利勝	五十嵐博文	井上康	高橋祐子	窪田優			櫻井優好	鈴木英吉	柏崎のり子
議案番号	件名																						
市長提出議案																							
議案第 8 号	富里市教育委員会教育長の勤務時間、休暇等及び職務専念義務の特例に関する条例の制定について	総務	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 9 号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 10 号	特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 11 号	富里市長及び副市長並びに教育委員会教育長の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 12 号	富里市職員の給与等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	総務	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 13 号	富里市行政手続条例の一部を改正する条例の制定について	総務	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 14 号	富里市特定疾患見舞金支給条例の一部を改正する条例の制定について	文教	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 15 号	富里市子どものための教育・保育に関する利用者負担等を定める条例の制定について	文教	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 16 号	富里市保育の実施に関する条例を廃止する条例の制定について	文教	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 17 号	富里市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	文教	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 18 号	富里市指定介護予防支援事業者の指定に関する基準並びに指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定について	文教	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 19 号	富里市地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の制定について	文教	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 20 号	富里市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	文教	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 21 号	富里市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	文教	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 22 号	富里市立幼稚園保育料等徴収条例の一部を改正する条例の制定について	文教	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 23 号	印旛郡市広域市町村圏事務組合理約の一部を改正する規約の制定に関する協議について	総務	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 24 号	印旛郡市広域市町村圏事務組合の共同処理する事務の変更に伴う財産処分に関する協議について	総務	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 25 号	平成 2 6 年度富里市一般会計補正予算（第 7 号）	総務 文教	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 26 号	平成 2 6 年度富里市国民健康保険特別会計補正予算（第 3 号）	文教	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 27 号	平成 2 6 年度富里市下水道事業特別会計補正予算（第 3 号）	総務	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 28 号	平成 2 6 年度富里市介護保険特別会計補正予算（第 4 号）	文教	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 29 号	平成 2 6 年度富里市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 2 号）	文教	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 30 号	平成 2 6 年度富里市水道事業会計補正予算（第 3 号）	総務	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 31 号	平成 2 6 年度富里市一般会計補正予算（第 8 号）	総務 文教	多	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
委員会提出議案																							
委員会提出 議案第 1 号	富里市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	－	全	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
委員会提出 議案第 2 号	富里市議政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例の制定について	－	全	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議 案 の 内 容

3月定例会

承 認 1	平成 26 年度富里市一般会計補正予算（第 6 号） 介護保険法の改正に伴う地域包括システム改修に係る委託料及び公共用地取得事業特別会計繰出金について、緊急に対応する必要が生じたため、歳入歳出それぞれ 225 万 1,000 円を追加した専決処分の承認を求めるもの	議 案 22	子ども子育て支援新制度への移行に当たり、利用者負担額を定めるとともに、周辺市の状況に合わせて「預かり保育料」の額を改定するもの
承 認 2	平成 26 年度富里市公共用地取得事業特別会計補正予算（第 2 号） 市が取得した日吉倉桜小路地区の土地において、隣接地との境界を整形化するため、土地の交換を行うものであり、土地交換に必要な用地測量業務委託料等について、緊急に対応する必要が生じたため、歳入歳出 106 万 3,000 円を追加した専決処分の承認を求めるもの	議 案 23・24	印旛郡市広域市町村圏事務組合が運営していた「軽費老人ホームよしきり」を社会福祉法人に無償譲渡することに伴い、組合理約の改正、財産処分することについて協議するもの
議 案 1～7	平成 27 年度各会計当初予算 ※金額等詳細は P.3 へ	議 案 25	歳入歳出それぞれ 7,169 万 7,000 円を減額し、総額を 160 億 5,998 万 6,000 円とするもの
議 案 8～11	新教育委員会制度移行に伴い、条例の制定、改正、廃止を行うもの	議 案 26	歳入歳出それぞれ 1 億 1,503 万 9,000 円を追加し、総額を 65 億 5,112 万 8,000 円とするもの
議 案 12	人事院勧告及び千葉県人事委員会勧告を踏まえ、給料表の引き下げ、地域手当及び管理職員特別勤務手当の見直し、並びに新教育委員会制度移行に伴う所要の改正を行うもの	議 案 27	歳入歳出それぞれ 3,643 万 1,000 円を減額し、総額を 8 億 658 万 6,000 円とするもの
議 案 13・14	国等の上位法令が改正されたことに伴い、条例を改正するもの	議 案 28	歳入歳出それぞれ 1 億 9,024 万円を減額し、総額を 22 億 8,918 万 1,000 円とするもの
議 案 15	「子ども・子育て支援法」に基づき、市が行う子どものための教育・保育に関する利用者負担等に関する事項について、新たに条例を制定するもの	議 案 29	歳入歳出それぞれ 412 万 4,000 円を減額し、総額を 2 億 8,154 万円とするもの
議 案 16	国等の上位法令が改正されたことに伴い、条例を廃止するもの	議 案 30	収益的収入の営業外収益を、1,671 万 3,000 円増額し、収益的支出の営業費用を 155 万 1,000 円、特別損失を 174 万円増額するもの
議 案 17	介護保険事業計画の見直しに伴い、平成 27 年度から 29 年度までの保険料率と低所得者に配慮した所得段階の設定等、所要の改正を行うもの	議 案 31	歳入歳出それぞれ 1 億 3,007 万円を増額し、総額を 161 億 9,005 万 6,000 円とするもの
議 案 18～21	介護保険法及び施行規則の改正に伴い、所要の改正を行うもの	委員会提出 1	新教育委員会制度移行に伴い、条例の改正を行うもの
		委員会提出 2	政務活動費の交付に関し、より適切な運用を図るため、市例規との整合性を図るなど、所要の改正を行うもの

各会計当初予算

会 計	平成 27 年度		平成 26 年度		対前年度比較	
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増減額	増減率
一般会計	15,727,000	59.2	15,003,000	61.0	724,000	4.8
特別会計						
国民健康保険特別会計	7,231,206	27.2	6,128,092	24.9	1,103,114	18.0
下水道事業特別会計	827,717	3.1	826,025	3.4	1,692	0.2
介護保険特別会計	2,478,022	9.3	2,361,654	9.6	116,368	4.9
後期高齢者医療特別会計	293,195	1.1	283,286	1.2	9,909	3.5
公共用地取得事業特別会計	421	0.0	386	0.0	35	9.1
企業会計						
水道事業会計	1,402,337	—	1,414,619	—	△ 12,282	△ 0.9

(単位:千円、%)

予算審査特別委員会
 委員長報告

委員長

大川原 きみ子

御報告いたします。

本委員会に付託されました、議案第一号 平成27年度 富里市一般会計予算について、四日間にわたり、議場にて、「総括、総務関係」、「健康福祉関係」、「消防・教育委員会関係」、「市民経済環境・都市建設関係」について、市長、副市長、教育長及び関係部課等の長、出席のものと慎重に審査を行いました。

以下、審査の経過と結果についてご報告いたします。

平成27年度一般会計予算は、前年度比四・八％の増の総額一五七億二、七〇〇万円で、平成23年度一般会計予算を超える、過去最大規模の予算編成となりました。

平成27年度予算の主な特徴として、

歳入について、

市税は、個人市民税、市たばこ税などは増加を見込むものの、法人市民税、固定資産税の減により、全体では前年度比四、三〇〇万円、〇・八％減の五六億四、六二七万一千円となりました。

歳出については、

普通建設事業費では、新保健センター等建設事業一一億一、一三八万一千円の増、子ども・子育て支援事業二億四、四九五万六千円の増、道路改良事業一億四、四七八万二千円の増、学校給食センター施設統合事業一二億三、五七三万一千円の減、庁舎施設改修事業一億九、〇四九万三千円の減など、全体では前年度比二億九、〇三〇万九千円、一・六％増の二七億九、〇五八万三千円となりました。

主な新規事業につきましては、

・協働のまちづくりを推進するため、地域課題の解決に取り組む市民活動団体等の拠点として、市民活動サポートセンターを設置する市民活動サポートセンター事業。

・生活困窮者及び生活保護受給者が、困窮状態から早期に脱却できるよう、自立・就労支援体制を構築し、包括的かつ継続的な支援による、自立促進を行う自立生活支援事業。

・大規模な地震の発生に備えて、建築物の地震に対する安全性の向上を図る、要緊急安全確認大規模建築物耐震診断補助事業。

・不登校の未然防止を図り、魅力ある学校を作るため、小中学校と教育委員会が連携して調査・研究を行う、ジョイント・スクール推進事業です。

質疑についてですが、

各委員から、多岐にわたる質疑等がありました。ここでは、意見・要望のありました何点かについて申し上げ、報告いたします。

・地方創生関係の事業について、対応漏れがないよう情報を注視し、市民ニーズにこたえるよう対応されたい。

・女性や若年層の職員の、意見や提案を十分取り入れた予算編成となるように努められたい。

・災害対策に対する基金積立などを検討するとともに、財政調整基金の積み増しに努められたい。

・本庁舎バリアフリー化工事にあわせて、番号表示など、よりわかりやすい庁内案内表示を検討されたい。

・ふるさと応援寄附金について、充実した報償品を揃え、多くの寄附が集まるよう検討されたい。

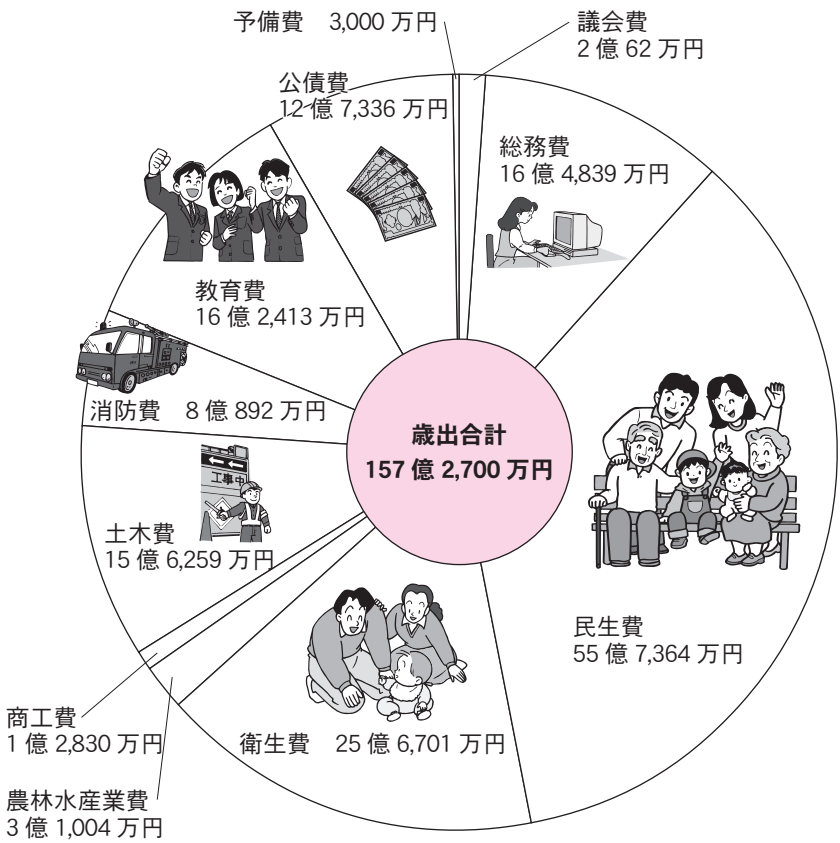
・自立相談支援業務の委託について、派遣される相談員個人の資質に、差が出ないよう留意すること。

・生活保護事業の医療扶助費においても、ジェネリック医薬品の有効利用を周知すること。

・火災時における円滑な消火活動に資するため、計画的に消火栓・防火用水の設置に努めること。

・旧岩崎家末廣別邸保存活用事業について、市民からの関心も高いことから、公開に向けた情報の周知に努められたい。

平成 27 年度一般会計
 (表示単位未満四捨五入)



・英語教育推進事業について、A L T 講師の増員のほか、小学校の英語教科化に向けた、教員の研修等の充実を検討されたい。

・中学校部活動補助事業について、将来的なクラス数の減少を考慮した、補助金の交付算定方法を検討されたい。

・制度資金事業について、利用者増を図り、商工関係の地域活性化の源となるよう努めること。

以上、四日間にわたる真剣な質疑応答が終了し、採決の結果、議案第一号 平成27年度富里市一般会計予算は、賛成全員にて、原案のとおり可決されるべきものと決定しました。

最後に、執行部におかれては、審査を通じて出された数多くの議論や意見を真摯に受けとめ、平成27年度の市政運営に当たっては、限られた予算をより効果的に、執行されるよう要望いたします。予算審査特別委員会の審査報告いたします。

常任委員会の 審査から

総務建設常任委員会

総務建設常任委員会は、付託された議案一五件について、審査を行いました。主な議案について御報告いたします。

議案第三号、平成27年度富里市下水道事業特別会計予算について、立沢台団地の公共下水道への切りかえのため、工事を予定しているとのことだが、供用開始はいつからか、との質疑があり、平成28年4月1日を予定しているとの説明でした。

議案第七号、平成27年度富里市水道事業会計予算について、水道事業収益から、水道事業費用を差し引いた、収益的収支が、四八一万円の黒字を見込んでいるとの説明に対し、加入金の収益が鍵となると思うが、どのような積算か、との質疑があり、社会増がそれほど見込めないため、今年度中の実績を考慮し、一三ミリが七〇件、二〇ミリが八〇件を見込んでいるとのことでした。

議案第一二号、富里市職員の給与等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について、管理職手当を支給する職員が、災害対応、その他緊急を要する事案が発生し、平日深夜に勤務した場合、勤務一回につき六、〇〇〇円を限度に支給することだが、これまでの対応は、との質疑があり、平日には支給されていなかったとの説明でした。

議案第二五号、平成26年度富里市一般会計補正予算（第七号）について、道路維持補修事業、工事請負費一、九一〇万四、〇〇〇円の減額について質疑があり、国庫補助金による工事路線が一路線あり、六、〇五万円要望したところ、四、七七一万七、〇〇〇円の内示であったことなどに伴う減額との説明でした。

慎重に審査した結果、付託された全ての議案は、可決しました。

委員長 佐藤 繁夫

文教厚生常任委員会

文教厚生常任委員会は、付託された議案一七件について、審査を行いました。主な議案について御報告いたします。

議案第二号、平成27年度富里市国民健康保険特別会計予算について、国民健康保険税の現年分目標収納率を八二・八六％としているとのことだが、全国平均では九〇％を超えている現状から見、過年度分中心から、現年分中心の収納主義へ変更を検討すべきでは、との質疑があり、県も国も現年の収納率について着目している実態がある。検討をしながら努めていきたいとの説明でした。基金繰入金の増額について、基金残高確保のため、取り崩しを行わないことによるものとのことだが、どのような意図があつてか、との質疑があり、一般会計との協議もあるが、将来的に広域化をにらんで、平成30年度までに基金の残高を三億円近くまで積み増しをしたいためとの説明でした。

議案第四号、平成27年度富里市介護保険特別会計予算の介護保険一般管理事業について、減額となっているが、委託内容などはふえている傾向があり、人数的な体制など、どのように捉えているか、との質疑があり、包括支援センターの一つの基準では、高齢者六、〇〇〇人に対して、社会福祉士、主任ケアマネ、保健師の三人体制としているが、市の現状は、一万一、〇〇〇人を超えている中、一カ所三人体制でやっている。高齢者は増加しているので、人員体制などこれから検討したいとの説明でした。市民後見人制度普及推進事業委託料について質疑があり、研修会の開催、啓発資料の作成、実態調査の実施を検討しているとの説明でした。

慎重に審査した結果、付託された全ての議案は、可決しました。

委員長 大川原 きみ子

一般質問

質の
は自身
文による
本者稿
※問原
問原の

通告項目（代表）

市民クラブ
 (1)第三次行政改革大綱（平成27年改訂版）及び行政改革プランについて
 (2)都市計画について
 (3)民間大型施設、現時点で把握している進捗等の情報について
 (4)市長の政治姿勢について

公明党

(1)地方創生に向けた我がまちの見解と対応、方向性について伺います。
 (2)平成27年度施政方針について

とみの風

(1)総合計画について
 (2)平成27年度施政方針について

通告項目（個人）

佐藤繁夫

(1)富里農業の将来を考えた振興策について
 (2)農協の活動について
 (3)国保税の未納対策と3年後問題について

布川好夫

(1)選挙の投票率について
 (2)医療費抑制について
 (3)自主財源の確保について
 (4)プレミアム商品券について

高橋祐子

(1)小中学校へのエアコンとLPGバルクの設置について
 (2)災害対策について
 (3)トランジット旅客の訪日観光促進協議会について
 (4)電気契約について

岡野耕平

(1)総合計画について
 (2)少子高齢化について
 (3)成田空港の現状と取り組みについて

井上 康

(1)富里市ふるさと応援寄附金の活用について

窪田 優

(1)子ども子育て支援について
 (2)新教育委員会について

市民クラブ

戸村喜一郎

問 四期目の市長選への出馬の意向は



答 出馬する意向はありません

問 新たな施策も掲げた中、8月に任期が終了するが、四期目の市長選に出馬する意向はありますか。

答 最後の御奉公をさせていただきたい。見直すべきところは公約として掲げ、当選させてもらえるならもう一期やりたい。待機児童をゼロにすることなどに取り組みたいと思います。

『行政改革大綱及び改革プラン』

問 平成26年までの実績に対しての評価をどう捉えているか。

答 社会保障経費の増加や税財源の伸び悩みなどにより行政運営の厳しさが増してきております。引き続きコストの削減を進めながら、市民サービスの向上を図り、市民との連携・協働のもとに、自立した基礎自治体として個性のあるまちづくりを進めていく必要があると考えています。

『都市計画について』

問 現状の都市マスタープランで掲げている内容と現状のまちづくりに乖離がみられる、見直しが必要と思えるが。

答 市の上位計画である後期基本計画の策定や、県の策定する都市計画区域マスタープランの見直し作業も行われていることから、見直しも必要であると考えています。

問 都市計画道路三・四・二〇号線の整備について。

答 来年度からの事業化に向けた準備作業に着手すべく、平成27年度当初予算では、概略設計等の事前調査費を計上させていただきます。

公明党

大川原きみ子

問 地方創生に向けた見解と対応、方向性について



答 市民と協働のものと将来を見据えて取り組みます

問 「人口ビジョン」と「地方版総合戦略」策定について。

答 策定に当たりましては、国の長期ビジョンや総合戦略に加えて千葉県の人口ビジョンや総合戦略を勘案し平成27年度中の策定に向け準備を進めてまいります。

問市の「総合計画」との整合性について。

答 地方版総合戦略は、総合計画とは計画期間についても異なることから、地方版総合戦略とは別に策定することとなりますが、総合計画との整合性を図りながら取り組むべき施策と、その具体的な実効策を企画立案してまいります。

『平成27年度施政方針について』

問 子育て支援について。

答 葉山保育園の受け入れ人数の拡大を図るため、現在、葉山保育園に併設している子育て支援センター及び一時保育室を通常の保育室に転用するとともに、市民ニーズの高い「子育て支援センター事業」、「一時保育事業」、「放課後児童クラブ」を複合的に備えた（子ども館）を学校給食センター第一調理場跡地に建設してまいります。

問 高齢者福祉について。

答 支援の必要な高齢者の見守りと把握のため、「高齢者見守り協力事業者ネットワーク事業」を展開し、平成27年1月末現在三五の事業者と協力を締結し、活動を開始しました。さらに新たな事業として、高齢者や家族の健康や介護、介護予防などの不安の相談の場として、看護師による二四時間三六五日対応可能な電話相談事業を実施します。

とみの風
五十嵐博文

問 新公会計制度は行政の本質を変えるが方向性は



答 行財政運営の分析評価が充実していきます

『総合計画について』

問 地方自治法の一部改正により、同法第二条第四項の「基本構想策定の義務付け」が撤廃。地方分権改革推進委員会・第三次分権改革で「義務付け・枠付けの見直し」の一環として実施。中長期的計画は、環境の変化が激しい中で実効性の確保が困難。計画が総花的で形骸化などが廃止の理由。富里市は旧体系における策定と考えるがどのように捉えるか。

答 法の枠組みがない中で、法律による義務に応じた計画策定から住民本位の計画策定への転換が図られ、市町村の自主的な取り組みとしての総合計画に変わったと捉えています。

問 地方創生は、各自治体に競争原理が生まれてくる。いかに知恵を絞り、しっかりと積極的に取り組むか否かによって、おのずと市町村の形が変わる。その元は総合計画。幸い富里市は後期基本計画と地方創生が同時期に行われ、大きな柱ができる。つくるためには根本的な部分をしっかりと整理すべき。地方創生を踏まえた後期基本計画の市長の意気込みは。

答 後期基本計画と地方創生は同じです。後期基本計画をつくることから、少子化に合わせたものをつくり、国が認めていただければ、それを進めます。

『平成27年度施政方針について』

問 新会計制度の導入時期は、いつを目指すか。

答 地方公会計制度は、平成27年度に固定資産台帳整備に着手し、平成30年度からの運用開始を目指します。

佐藤繁夫

問 富里農業の将来を考えた振興策は



答 産業振興基本条例の中で農業振興策を示します

問 富里の基幹産業である農業の発展を考えて、昨年度のスイカ、ニンジン等の安値で苦しむ農家、また担い手の若い農家への支援策はどのように考えますか。

答 富里市では、これまで富里の特産物であるスイカについては、すいかの里生産支援事業など実施してきました。

平成27年度も引き続き実施すべく当初予算に事業費を計上しました。

問 我が国が環太平洋連携協定に参加すると、富里農業はどのように発展しますか。

答 現時点でTPP参加についての詳細な情報は示されておりませんが、政府によると農林水産物生産額で三兆円減少するとの試算が示されており、富里市においても畜産物を中心に影響があると予想されます。

問 私の手元にも、国の資料に基づいて試算したTPPの資料がありますが、それによりますと、国内生産額が一〇億円以上の九品目で、年間四兆一、〇〇〇億円減少するとのことですが。

また別の資料では、国の資料に基づいて試算した千葉県の公表したものとすると、米、豚肉、牛乳、落花生が大きな影響を受け、富里市にも関係ある豚肉は七八%、落花生については四〇%、生産が減少するだろうといわれているが、富里ではどのように考えているか。

答 詳細な情報がないので、答えは難しいのですが、米をやめて野菜に転作する農家が、全国で広まれば、富里野菜の相場にも影響が出るのかなとも思われます。

布川好夫

問 プレミアム商品券の販売について



答 一冊一万三、〇〇〇円分を一万円で販売します

『医療費抑制について』

問 医療費抑制は、いかに早く病気を発見し治療するのが基本です。特定健診やがん検診の受診率の向上は大きく左右されます。市民が気軽に検診できる環境整備が大切ですが、地域巡回で気軽に検診が受けられます。とても重要と考えますが認識を伺います。

答 平成26年度は、三五日間二〇カ所で巡回検診を行いました。好評ですので、平成27年度も引き続き行つてまいります。

問 市民から土曜・日曜・休日に検診を行ってほしいとの声がありますが、本市の考えを伺います。

答 休日しか検診できない方を把握し今後検討します。

問 健康マイレージ(ポイント)制度を、近年多くの自治体では医療費抑制に健康寿命を延ばす取り組みを行っています。その一つとして地域にあった健康マイレージ(ポイント)制度を事業化して、医療費抑制を図っています。本市の考えを伺います。

答 ポイントについて、どのよう還元できるか、他市の先進的取り組みを研究し検討してまいります。



プレミアム商品券(イメージ)

高橋祐子

問 小中学校へのエアコン設置について



答 計画的に整備してまいります

問 教育環境の充実を図ることは大変に重要と、エアコンを必要な施設と市は認識されている。エアコンを設置するならLPガスのガスヒートポンプでつけてはどうか。市は学校を避難所に指定しているのだから、LPガスのバルク設置で災害時の対策も同時に整うがどうか。

答 やつていく方向で検討していきます。

『県外自治体との災害時相互応援協定について』

問 これまで再三にわたり質問を続け、ようやく前進した。岩手県雫石町と締結するとのことだがその時期は。

答 平成27年度の早い時期です。

『トランジット旅客の訪日観光促進協議会について』

問 空港があるから今の富里市があるので。空港と一体になっているいろいろアクションすべき。買い物コースや乗馬体験など考えられるが、参加を検討してみては。

答 検討課題とします。

『電気契約について』

問 高圧の業務用部門では既に一〇年も前から自由化されているが、市は一般競争入札が原則であるのにしていない。料金メニューや供給条件の比較などによって事業者を選ぶことが重要。東電ありきでなく、新電力も含め入札すべきではないですか。中央公園の電気はPPSに乗りかえた結果、一年間で七〇万円の削減効果が出ているが。

答 今後は入札に向けて対応していきます。

岡野耕平

問 富里市総合計画書は何部作成か、コストは



答 三〇〇部作成し、一六五万円(税抜き)です

『総合計画について』

問 総合計画書の配布先は。

答 議員や関係機関へ配布しました。

問 市職員への意識の徹底や活用は。

答 総合計画は、市の全ての計画の最上位計画であり、新規採用職員の研修等にも活用しています。

問 事業の妥当性、有効性、効率性、公平性についての事務事業評価をどのように反映させているのか。

答 予算編成の指針等に生かしています。

『少子高齢化について』

問 子ども子育て支援新制度が始まるが本市における子ども子育てへの取り組みは。

答 全ての子供に良質な育成環境を保障し、健やかに成長する社会の実現に取り組んでいます。

問 フィンランドでは、ネウボラという制度があり、保健師が常駐しているそうだが、本市の現状と取り組みは。

答 子ども子育てコンシェルジュを配置し保育につなげ、ワンストップサービスの実施、家庭児童相談室や健康推進課と連携し、不安感や負担感の軽減に努めます。

『新保健センターのさらなる活用は』

問 窓口業務等において改善はされたか。

答 子育て支援課と健康推進課を隣合せし、福祉部門の窓口が本庁舎と新保健センター一階に集約され、きめ細やかなサービスの提供ができると考えています。

問 保健事業に特化しないさまざまな活用方法があると思うが、想定されているか。

答 二階は防災拠点機能をあわせ持つほか、福祉避難所としての整備を考えています。



井上 康

問
 ふるさと応援寄附金を活用し、まちの活性化を

答
 先進地事例を参考に研究してまいります

問
 ふるさと応援寄附金（ふるさと納税）は、寄附いただくときに用途を明確にしています。「富里の原風景や自然環境を継承」「食の安全と農業振興」など七事業ありますが、目的に沿って十分な活用がされていないと思います。

答
 三事業について活用されています。

問
 ふるさと寄附金のお礼にスイカや地元特産品を贈るだけでなく、使い道や目的を具体化した、地元活性化のための事業に賛同をいただく手段として寄附金を募る手法を取り入れるべきでは。

例
 えば、旧岩崎家末廣別邸保全活動や、中央公園の水鳥の池の整備、指定地域の里山谷津の復活など。

他の自治体の例では、募集から二カ月で、里山保全活動に七七五人が賛同し九三九万円が寄附された実例もあります。
答
 有効と考えますので、検討します。
問
 寄附金のお礼に体験を提供する手法を取り入れるべきでは。

例
 えば、一万円寄附で、日帰り親子自然観察会&地元農家収穫体験。二万円寄附で日帰り乗馬体験&地元特産物を使った高級フレンチつき。三万円寄附で、地元ホテル宿泊&スイカロードレース参加つきなど。

答
 関係する部局間で検討します。

問
 さらなる活用に向けての市の方針は。
答
 いただいた寄附金を目に見えて示せる事業に充て、公表することにより、さらに関心が深まるように検討し、手続きの簡素化、お礼の特産品等について、先進地事例等を参考に研究します。



窪田 優

問
 子ども子育て新制度になって何が変わりますか

答
 利用希望者は保育の必要性の認定が必要です

問
 消費税一〇％先延ばしの影響はあるか。答事業は実現できると理解しています。

問
 葉山保育園と向台幼稚園の認定こども園化に向けて、職員は何名くらいふやす予定ですか。

答
 約二〇名ほど必要と見込んでいます。

問
 正規か非正規職員か、どうですか。

答
 クラス担任を伴う職員は正規職員、半数は正規職員で賄いたいと考えています。
問
 保育士の確保が厳しいと言われていますが、十分確保できる算段がありますか。

答
 難しいが確保に向けて取り組みます。

問
 新制度で保護者の負担は変化しますか。

答
 現行の水準が基本ですが、各家庭の所得の状況によりふえる方もいれば、減額になる方もいらっしゃると思います。

問
 「就労条件のない無認可保育所的な保育所をつくってほしい」という声もある。富里の無認可保育所の数、利用人数は。
答
 市内に三施設あります。二月現在、利用者は五九人です。

問
 利用の理由は「認可保育所に入れないため」か「認可保育所では預けたい時間が合わないため」か、確認されていますか。
答
 三施設のうち二施設は二四時間保育を実施していて、公立では対応できない部分で利用されている方はいらっしゃいます。

問
 認可外保育所にも補助をとという声も聴いていますが可能ですか。

答
 今後、認可施設移行への支援や利用者の負担の軽減を検討してまいります。

問
 病児病後児保育の事業者と定員は。
答
 施設は龍岡クリニックです。定員は六人です。事前に登録が必要です。

議員研修

議会運営委員会視察

期日：平成 27 年 1 月 13 日及び 14 日の 2 日間

視察地及び視察事項：

- (1) 愛知県犬山市議会 議会運営（議員間討議の促進等）について
 (2) 岐阜県高山市議会 議会運営（議会による政策提言等）について

とみさと議会報編集特別委員会視察

期日：平成 27 年 1 月 27 日及び 28 日の 2 日間

視察地及び視察事項：

- (1) 宮城県川崎町議会 議会広報の編集について
 (2) 岩手県滝沢市議会 議会広報の編集について



議会運営委員会視察の様子

とみさと議会報編集特別委員会視察の様子



次回定例会の予定

平成 27 年		
5 月 29 日（金）	本会議	（議案上程）
6 月 3 日（水）	本会議	（一般質問）
6 月 4 日（木）	本会議	（一般質問）
6 月 5 日（金）	本会議	（一般質問）
6 月 8 日（月）	予備日	

- 6 月 11 日（木） 文教厚生常任委員会
 6 月 12 日（金） 総務建設常任委員会
 6 月 19 日（金） 本会議（委員長報告・質疑・討論・採決）

※日程、内容は予定であり、変更となる場合があります。
 詳細な日程は開会 1 週間前に決定しますので、市ホームページでご確認いただくか、議会事務局にお問い合わせください。

議会を傍聴しませんか

6月定例会は5月29日（金）から開会予定です。

※議場は市役所本庁舎 3 階です。
 ※本会議の様子は市民課ロビー（市役所本庁舎 1 階）のテレビや日吉台出張所のモニター、インターネット（ライブ・録画）でもごらんいただくことができます。
 ※本会議の録画映像は、当該本会議の会議録が作成されるまでの間（おおむね 2 カ月）、市議会ホームページに掲載しています。

ご意見・ご感想をお寄せください！

議会報を読んで感じたことなど、皆様のご意見をお待ちしております。
 また、議会報は市議会ホームページでもごらんいただくことができます。

〒 286-0292 富里市七栄 652-1 議会事務局
 TEL. 0476-93-6492 FAX. 0476-91-3595

富里市議会ホームページアドレス
<http://www.city.tomisato.lg.jp/category/2-3-0-0-0.html>

編集後記

青葉しげれるころとなり、我が富里市も青々とした大地が広がっています。

3 月議会では、平成 27 年度の富里市一般会計予算の審査特別委員会が開かれました。

第一日目は総括、総務関係、第二日目は健康福祉関係、第三日目は消防・教育委員会関係、第四日目は市民経済環境・都市建設関係の審査が連日行われました。活発で慎重な質疑応答があり、賛成全員で可決されました。

4 月から始まった新規事業もあります。委員長報告をごらんください。

また、4 月の統一地方選挙により議会報の委員構成も変わります。これまで編集に携わってきた委員一同、御愛読していただきました市民の皆様に深く感謝いたします。

「こんにちはとみさと議会です」は、これから市民の皆様に取り添った議会報であることを目指していきたいと思っています。

（委員長 高橋 益枝記）